



6月
定例会

質疑

大綱質疑

市政の
?を
問いました

上、「統廃合はいつ正式決定したのか」の質問に長沼氏が答弁不能だったことに起因する。教育委員長として適格か。

答 長沼委員長は小中一貫教育に対し、深い理解と指導力を発揮している。再任は市長から直接お願いした。

■議第7号

問 三条市条例の一部改正が提案されたが、この改正により税収は減収になるのか。

答 今回の改正により減収となるものは、個人市民税の住宅ローン控除の拡充によるもの。額については予測できない要素もあるが、約1400万円の減収となる見込みである。

■議第15号

問 風疹の大流行に県も緊急対策を発表。今回の風疹予防接種の概要は、医療機関によっては抗体検査を求められたと聞くがどうか。

答 費用の3分の1は自己負担。3分の2を市で助成し、県は市の

答 長沼礼子さんは教育委員の職責をしっかりと果たし、三条市が進めてきた小中一貫教育の推進の基本的な方向感はずばり志を同じくし、事に当たってきている。

問 教育委員のバランスについて。教育委員は広く地域住民の意向を反映する役割がある。第一中学校区小中一貫校は来年4月に開校するが、地域住民の意向をしっかりと聞いていくために嵐南地区に教育委員が必要だと考えるがどうか。

答 教育委員の地域分割については、私がいる限りするつもりはない。

問 一校校をめぐる住民監査請求は、退職者教員との懇談会の席

■議第17号

問 介護予防事業参加促進事業の内容は。

答 生活機能の低下があり、要支援、要介護になる恐れがあると認定された2次予防事業対象者を健康診断等により把握し、介護予防事業への参加呼び掛けや相談支援事業を行い、さらに介護予防事業推進の統計資料を作成するもの。
今後介護状態にならないよう取り組みを進めるため、2次予防事業対象者を確実に把握していきたい。

問 校務支援システムのクラウド化実証実験とは。

答 教師が児童生徒と向き合う時間の増大を図ることを目的として、児童生徒の成績管理、健康観察記録などの保健管理を含む学校業務のほとんどをクラウド化したシステムの実証実験に参加するもの。
システムの効果や課題など使用結果の意見集約、他自治体とのシステムの共有の在り方などを研究して、有効性の検証を行い、本格導入のための資料をまとめた。

問 本年5月に市内の建設業者の1社が自己破産した。公共事業も多く手掛けていたと聞くが影響はあるのか。



助成額の2分の1を補助する。助成対象者は市内在住の妊娠または希望する女性と、夫及び同居家族等。抗体検査の統一はできず、助成はしない。

答 未完了の残工事は、農地、農業用施設工事で12件、公共土木施設工事で14件の合計26件である。建設業協会の協力をいただきながら早期完了に取り組んでいる。

問 井栗児童クラブの施設建設とふじの木保育園園庭拡張について、今後のスケジュールはどうなっているのか。

答 今年度は用地の測量、農振除外申請、できれば用地の取得を行

い、26年度に造成工事と建設工事に着手する予定である。



児童クラブの建設と園庭拡張が予定される用地(左が井栗小学校、右がふじの木保育園)

■議第16号

問 新規の事業所に補助金を交付する事業なのに、なぜ公募しなかったのか。バイオマス以外に事業を検討しなかったのか。

答 申請までの期間が短く一般公募できなかった。木質バイオマスで実績のある業者に声を掛け、その中で新規に事業を設立することになった。



さんちゃん健康体操